

# はあとふる

地域支援センター通信（猪苗代支援学校）

第3号 令和5年12月8日（金）発行



## 第2回保護者交流会「はあとふるタイム」を開催しました。

今年度2回目の保護者交流会「はあとふるタイム」を11月1日（水）に開催しました。今回は、卒業生の保護者3名と中学部の保護者3名に参加していただきました。卒業生の保護者からは、卒業後の生活や就労などの具体的な話がたくさん出ました。参加された保護者の皆さま、本当にありがとうございました。はあとふるタイムで話題になったことを紹介します。是非ご家庭で話題にしてみてください。

次年度も「はあとふるタイム」を実施する予定です。話を聞くだけでも構いません。ぜひ気軽にご参加ください。地域支援センターはあとふるでは、校内の保護者の方の教育相談（校内相談）を随時受け付けています。詳しくは、学校のホームページ「地域支援センターリーフレット」をご覧ください。

### 【進路について】

事業所選びについての話題がありました。同じ就労移行支援事業所でも、場所によって合わないと感じ変更する人、また新しい事業所ができた場合、事前に情報収集し、事業所を変更した人という話がありました。

また、行きたくなくても「行かない」と言えない、頑張らないといけないという意識を変えることの難しさについては、私自身も考えさせられる話題でした。



### 【公共交通機関の利用について】

高等部で実施している産業現場等における実習や、就労アセスメント、自力通学など、公共交通機関を利用できると、就労場所等の選択の幅が広がる、という話は、以前の通信でもお伝えしました。今回の「はあとふるタイム」ではさらに具体的な話が出ました。

磐越西線にはワンマン電車の時間帯がありますが、乗る時はボタンを押さないとドアが開かないこと、降りる時は一番前の車両のドアしか開かないそうです。これは一緒に乗って見ないと分からないことですね。

また、電車が止まった時や遅れた時の対応についての話も出ました。自分で周囲の方に聞くことができるのは強みですが、そうでないお子さんの方が多いのではないのでしょうか。そういった場合に備えて、一人で出かける時に携帯電話を持たせる、ヘルプカードを持ち物につける等の工夫をされているという話を聞くことができました。中には、カプセルトイで公衆電話の模型を手に入れ、電話のかけ方を教えたことがあるというご家庭もありました。

何回も一緒に練習して対応できるようになったというお話が印象的でした。



### 【成人になることについて】

成年年齢引き下げになって2年目になりました。在学中に成人になりますが、成人になると、今まで保護者の名前でできていた契約等が、本人の名前でないとできなくなるという話題が出ました。成人を迎えてからする更新、契約、割引等をする際は注意が必要ですね。

## <R5相談支援件数>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地域 相談	訪問	0	17	15	14	10	15	19	15
	来校	0	2	0	1	2	2	1	2
合計		0	19	15	15	12	17	20	17